

教育委員会会議の概要（令和2年12月定例会）

- ◆ 日 時 令和2年12月21日（月）午後2時00分から午後2時40分まで
- ◆ 場 所 教育局第1会議室
- ◆ 出 席 者

教 育 長	佐々木 洋	出席
委員・教育長職務代理者	吉田 利弘	出席
委 員	里村 正治	出席
委 員	阿子島 佳美	出席
委 員	梅田 真理	出席
委 員	川又 政征	出席
委 員	後藤 由起子	出席

◆ 会議の概要

1 開 会

2 議事録署名委員の指名 川又委員

3 報告事項

（1）国指定による指定文化財の部分解除について

（文化財課長 説明）

資料に基づき報告

4 付議事項

第32号議案 教育委員会会議規則の一部改正について

（総務課長 説明）

吉田委員 参集と出席の違いについて教えていただきたい。

総務課長 「参集」とは、人が集まって会議をするということであり、現在の規則では物理的に委員が集まることを規定している。これを「出席」に改めることで、オンライン出席もそこに含まれるものと解し、オンライン会議が成立するよう、新たに規定を設けるものである。

川又委員 他の委員会でも、こういった規則改正は行われているのか。

総務課長 文部科学省からの通知を受けて、今回の改正に至るが、規則の改正という点においては、どちらかといえば、本市の中でも早目に取り組んだと言える。

里村委員 規則第3条について、教育委員として互いに認識を共有したい。現行の規則にある「指定の時刻までに指定の場所に参集しなければならない」とは、教育委員は、万難を排しても教育委員会の会議に出席してほしい、という趣旨であると解す。

各委員様々な都合もあるかと思うが、まずは教育委員会への会議については万難を排して出席するよう努めなければならないということを、改めてお互いに確認しておきたい。

教 育 長 一堂に会すということが会議の基本としてはあるものの、今日の状況を踏まえ、オンラインという手法を取り入れることで、できるだけ会議への参加機会を多く確保し、広く委員の意見をいただきながら、会議を進めてまいりたい。

原案のとおり決定

第 33 号議案 令和 4 年度仙台市市立高等学校入学者選抜方針について

(高校教育課長 説明)

里 村 委 員 コロナ禍において、この方針のとおり高校入試を進められない場合の対応策は検討されているのか。

高校教育課長 新型コロナウイルス感染症のり患者から再試験の申出があった場合、3月10日の追試験を受験することになっている。

里 村 委 員 別の観点からの質問になるが、3月4日の本試験自体が実施できなくなることも想定しているのか加えて伺いたい。

高校教育課長 3月4日の本試験に関しては、現時点では予定どおり実施する方向で考えている。

里 村 委 員 万一3月4日の本試験を実施することが困難となった場合についても、今のうちから宮城県と併せて検討しておくべきではないか、ということである。

高校教育課長 県の教育委員会とも協議をしながら検討してまいりたい。

吉 田 委 員 2020年度から前期選抜と後期選抜が廃止され、一本化されたが、生徒への影響はあったのか伺いたい。

高校教育課長 以前の制度では、入試期間の長期化が課題となっていたが、一本化されたことにより、長期化の課題が改善されたと捉えている。また、これにあわせ入試事務の負担も軽減されたと認識している。さらに、出願条件を設けていたことにより、これまでは入学したい学校というよりも、受験できる学校、合格できそうな学校を選ぶ傾向があったが、そういったところも改善が図られたのではないかと考えている。

吉 田 委 員 共通選抜と特色選抜と二つの選抜尺度が設けられたことの影響はないか。

高校教育課長 共通選抜は県内の高校共通の選抜尺度で行われるが、特色選抜は学校ごとに求める生徒像を提示した上で、それぞれ設定した方法や配点で行うものである。一度の入試で二つの尺度があることは、受験生にとっても保護者にとっても少し分かりづらい点があったかもしれない。

吉 田 委 員 その分、生徒にとっては、各学校の特色がより明らかにされた上で受験に臨めたと捉えても良いのか。

高校教育課長 そういった利点もあったと捉えている。

原案のとおり決定

第 34 号議案 令和 4 年度仙台市市立中等教育学校入学者選抜方針について

(高校教育課長 説明)

里 村 委 員 定員の140名を厳格に捉えるのではなく、ぜひ弾力的な入学者の選抜を行っていただきたい。今回の出願者数はどの程度になっているのか伺う。

高校教育課長 定員140名に対し、出願者数は257名で、倍率は1.84倍となっている。

里 村 委 員 昨年同様、規則に沿いながらも一人ひとりの生徒に目を向けた選抜試験をしていただきたい。

阿子島委員 今年度はコロナの影響により6月からの学校再開となったため、授業時数も少なくなっている。高等学校の入学者選抜については、試験内容にも配慮されることが公表されているが、中等教育学校の入試については何か配慮があるのか。

高校教育課長 中等教育学校の入学者選抜は、総合問題ということで、学力検査は行わないこととしている。総合問題については、教科の枠を超えた出題となっていることから、高等学校入試のような配慮は特段行う必要がないものである。

原案のとおり決定

第35号議案 功績者表彰について（一般職員部門、児童生徒部門、一般教育文化部門）

（総務課長 説明）

原案のとおり決定

第36号議案 功績者表彰について（学校職員部門）

（教職員課長 説明）

原案のとおり決定

第37号議案 仙台市文化財保護審議会委員の委嘱等について

（文化財課長 説明）

原案のとおり決定

第38号議案 仙台市スポーツ推進審議会委員の委嘱に係る市長への意見の申出について

（スポーツ振興課長 説明）

原案のとおり決定

5 閉 会